

現代アートコレクター
利岡誠夫さんが、
30年かけて集めた宝物。
きっとみつける、
「みるオシャレ」のエッセンス。



利岡誠夫
《オタクコレクターの宝庫「ワンピース」》
2008年



スーゾー甘妻 (Christmas) 1988年



藤田 七 (作品名不詳) 2007年



Q JUN (群) 1997年 GO JUN



藤田 七 (作品名不詳) 1992年



現代アートの宝箱 OPAM 利岡コレクション

2018.12月8日[土] → 2019.1月20日[日]
大分県立美術館 3階 展示室B

現代アートの宝箱 OPAM利岡コレクション

関西を中心に現代美術の名コレクターとして知られた利岡誠夫さん（1926～2018）。製薬会社に研究職として勤務しながら、全国各地のギャラリーを巡り、およそ30年かけて現代美術や民俗資料を集めました。それらは、アートに対する純粋な眼差しとともに築き上げられた「現代アートの宝箱」。フタを開けてみると、抽象、ポップ、ミニマリズム、コンセプチュアルと、実にヴァリエーション豊かです。作品は自宅のお茶の間で飾られ、暮らしのなかで愛で楽しまれてきました。

2013年、コレクションは大分県に寄贈されました。当館では、来館者の皆さまに親密感をもってご鑑賞いただけるよう、開館以来2階の情報コーナーで、年に数回展示替えしながらご紹介してきました。本展では、利岡コレクションの全貌を紹介し、時代やジャンルを超えた幅広い視点からご覧いただくとともに、作品と作品が奏でるハーモニーをお楽しみいただきます。

【開催情報】

会期：2018年12月8日(土)～2019年1月20日(日) 休展日：なし 会場：3階 展示室B

時間：10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

主催：公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 共催：大分合同新聞社

後援：大分県、大分県教育委員会、NPO法人 大分県芸術文化振興会議、西日本新聞社、NHK大分放送局、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社

【観覧料】

一般 300 (250) 円

大学・高校生 200 (150) 円

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 ひびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者1名は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。 ※本展の半券で、会期中に限りコレクション展を団体料金でご覧いただけます。

開会式

日時 2018年12月8日(土) 午前9時30分から午前10時(受付：午前9時15分から 2階入口にて)

場所 大分県立美術館 3階 ホワイエ

内覧会

日時 2018年12月8日(土) 午前10時から午前10時30分

場所 大分県立美術館 3階 展示室B

開会式およびメディア向け内覧会にご参加いただける方は以下をご記入の上、お手数ですが、Email : info@opam.jp

または Fax : 097-533-4567までお送りください。

お名前：

ご所属：

参加人数：

Tel：

E-mail：

利岡コレクションとは？

関西の現代アートシーンで名をはせたコレクター、利岡誠夫さん（1926～2018）。

参天製薬で研究者として勤める傍ら、出張先のギャラリーなどを巡り、民俗資料をはじめ、戦後の前衛美術、80年代～2000年代初頭にかけての現代美術を収集しました。

画廊を足しげく訪れ、作家やギャラリストと交流し、丁寧にリサーチをし、収集活動を

続けました。2008年、紙幣をモチーフにした作品を「利岡ビル・アート・コレクション」

として京都国立近代美術館へ寄贈。作品は、2010年3月に同館にて開催された「マイ・フェイバリット」とある美術の検索目録／所蔵作品」展で紹介されました。

2013年、大分県にコレクション422点を資料とともに寄贈。それらの一部は年に数回の展示替えをしながら、県立美術館の2階情報コーナーで常時展示中。2016年2月に開催した「身も心も！現代アートに恋い焦がれてー利岡コレクション+大分アジア彫刻」展では約130点を展示しました。

利岡誠夫（としおかのぶお）氏

1926年、高知市生まれ。

1947年、大阪大学理学部化学科卒業後、参天製薬（株）入社。研究開発に従事。

1995年、退職。

2018年9月24日逝去。



関連イベント

◆トークイベント◆

日時 12月8日（土）13:30～15:00

会場 大分県立美術館3階 ホワイエ（展示室B前）

登壇者 岩澤有徑（いわさわ ありみち）（現代美術家）、新見隆（大分県立美術館館長）

現代美術家であり、利岡誠夫さんと大分県との橋渡し役となった岩澤有徑さんに、寄贈の経緯や利岡さんの人となりを伺いながら、コレクションの特徴を紐解いていきます。

定員 60名

参加費無料（要事前申込）

申込み方法 参加ご希望の方は、メールまたは電話にてお申し込みください。

メールの場合：app@opam.jpへ〔件名〕にイベント名、〔本文〕にお名前とご連絡先のお電話番号をご記入の上、お送りください。

電話の場合：097-533-4500にご連絡の上、イベント名とお名前、ご連絡先のお電話番号をお伝えください。

◆ギャラリートーク◆

12月16日（日）、1月13日（日）14:00～15:00

12月28日（金）16:00～17:00

申込み不要。参加費無料。要展覧会観覧券。



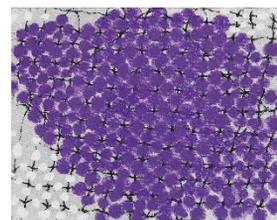
Holly Farrell
《Children's Books》
2009年



居城純子
《N35.41.44 E139.38.00》
2004年



丸山直文
《無題-Berlin》
2000年



中西夏之
《白、紫、黒 菱形S.f.f-2》
2009年

広報用画像の使用について

出版、放送、WEB等、本展の広報を目的とした報道に限り、指定の作品情報を記載の上、下記の画像をご使用いただけます。ご使用前に担当者までご連絡ください。

<p>1</p> 	<p>2</p> 	<p>3</p> 
<p>4</p> 	<p>5</p> 	<p>6</p> 
<p>7</p> 	<p>8</p> 	<p>9</p> 

1～8の作品をご使用の際は、該当する作品情報を**全て**記載してください。

1. 青木 陵子《つながりもの》2000年 ©Ryoko Aoki
2. O JUN《家》1997年 ©O JUN
3. 坂井淑恵《おうち》2012年
4. Holly Farrell《Children's Books》2009年
5. スージー甘金《Kirishima》1988年
6. 碓井ゆい《チョコレートの古着「ワンピース」》2006年
7. 丸山 直文《無題（少年）》2000年
8. 居城 純子《N35.41.44 E139.38.00》2004年
9. 展覧会ロゴ

担当窓口：大分県立美術館 広報担当 木藤野絵（本展担当学芸員）後藤有紗、植木 沙耶香
097-533-4500 info@opam.jp